

太政類典目錄 上 目次

第一編 自慶應三年至明治四年

一 制度

1	詔勅	(第一卷)	一
2	臨御親裁	(")	三
3	禁令	(")	三
4	布令揭示	(")	五
5	曆	(第二卷)	七
6	度量衡	(")	七
7	貨幣	(第三、四卷)	八
8	出版	(第五卷)	一三
9	爵位	(")	一三
10	種族	(第六、一二卷)	一七
11	忌服	(第一三卷)	三五
12	雜	(第一三、一四卷)	三八
二 官制					
1	文官職制	(第一五、二二卷)	四〇

三 官規

2	官廳制置	(第三、二四卷)	六五
1	任免	(第二五、三二卷)	七一
2	賞典恩典	(第三二、三三卷)	一〇二
3	朝參休暇	(第三七卷)	一一六
4	出張發着	(")	一一七
5	受付申達	(")	一一八
6	文書	(第三八、三九卷)	一二〇
7	印章	(第四〇、四一卷)	一二四
8	圖書	(第四二卷)	一二八
9	雜	(")	一二八

四 儀制

1	朝拜宴會	(第四三、四四卷)	一三〇
2	諸儀式	(第四四、四六卷)	一三六
3	雅樂	(第四六卷)	一四二
4	徽章	(第四七卷)	一四四

五宮內

- 1 內廷……………(第四八卷)……………一四八
- 2 行幸行啓……………(第四九、五二卷)……………一五〇
- 3 宮室……………(第五三卷)……………一六三

六 外國交際

- 1 外國贈答……………(第五四卷)……………一六五
- 2 外人參朝及贈遺……………(第五五卷)……………一六八
- 3 條約……………(第五六卷)……………一七〇
- 4 外人雇入……………(第五七卷)……………一七一
- 5 開港市……………(第五八、五九卷)……………一七六
- 6 內地旅行附不開港場回航……………(第六〇卷)……………一八〇
- 7 諸官員差遣……………(第六一卷)……………一八四

七 地方

- 1 行政區……………(第六二、六六卷)……………一八八
- 2 地方官職制……………(第六七、六九卷)……………二〇五
- 3 諸侯……………(第七〇、七二卷)……………二二二
- 4 地方官廳制置……………(第七三卷)……………二三七
- 5 土地處分……………(第七四、七五卷)……………二四一
- 6 特別地方……………(第七六、七七卷)……………二四九

八 保民

- 1 戶籍……………(第七八、八〇卷)……………二五三
- 2 衛生……………(第八一卷)……………二六〇
- 3 救濟……………(第八二、八四卷)……………二六二
- 4 警察……………(第八五、九一卷)……………二六七

九 產業

- 1 農業……………(第九二、九五卷)……………二九六
- 2 鑛業……………(第九五卷)……………三〇一
- 3 山林……………(第九六卷)……………三〇三
- 4 展覽會……………(第九七卷)……………三〇六
- 5 雜……………()……………三〇六

一〇 運漕

- 1 治水道路……………(第九八、一〇〇卷)……………三〇七
- 2 陸運……………(第一〇一、一〇三卷)……………三一四
- 3 海運附港津燈臺……………(第一〇四、一〇五卷)……………三二二

一一 兵制

- 1 陸海軍官制……………(第一〇六卷)……………三二六
- 2 鎮臺諸廳舍城堡附……………(第一〇七卷)……………三二九

3	徵兵	(第一〇八卷)	三三二
4	艦船	(第一〇九卷)	三三六
5	兵學	(第一一〇卷)	三三八
6	軍功賞及恤典	(")	三三九
7	徽章	(第一一一、一二二卷)	三四一
8	會計	(第一二三卷)	三四三
9	軍規	(")	三四五
10	雜、雜載	(第一二四、一二五卷)	三四七

一二 學制

1	教員及屬員	(第一一六卷)	三五二
2	學制	(第一一六、一一七卷)	三五二
3	學校	(第一一七、一一八卷)	三五三
4	生徒	(第一一九、一二〇卷)	三五七
5	雜	(第一二〇卷)	三六一

一三 教法

1	教法	(第一二一卷)	三六三
2	神社	(第一二二、一二五卷)	三六四
3	祭典	(第一二六、一二〇卷)	三七二
4	神官	(第一三一、三一卷)	三八一
5	寺院	(第一三二、一三四卷)	三八四

一四 租稅

6	葬儀	(第一三五卷)	三九一
7	僧尼	(第一三五卷)	三九二
1	徵收	(第一三六、一三九卷)	三九四
2	地租	(第一四〇、一四三卷)	四〇四
3	海關稅	(第一四四卷)	四一三
4	雜稅	(第一四四、一四七卷)	四一三
5	雜	(第一四八、一五三卷)	四二一

一五 理財

1	經費豫算	(第一五四卷)	四三四
2	官省臺使經費金	(")	四三四
3	府縣經費金	(")	四三四
4	出納順序	(第一五五卷)	四三六
5	勘定帳	(")	四三七
6	收入及支出金處分	(第一五六、一五八卷)	四三八
7	官給	(第一五九、一六〇卷)	四四五
8	旅費	(第一六一卷)	四五二
9	祿制	(第一六二、一七九卷)	四五六
10	國債及紙幣	(第一八〇、一八二卷)	四九五
11	雜	(第一八二、一八四卷)	五〇三

一六 民法

1 婚姻……………(第一八五卷)……………五一一

2 繼承……………(第一八六、一八七卷)……………五一五

3 契約……………(第一八七卷)……………五二四

4 貸借……………()……………五二五

一七 訴訟

1 民事裁判所……………(第一八八卷)……………五二六

2 審理……………()……………五二七

一八 刑律

1 刑律……………(第一八九、一九〇卷)……………五二九

2 違式註違……………(第一九〇卷)……………五三三

3 罰則……………()……………五三三

一九 治罪

1 刑事裁判所……………(第一九一卷)……………五三五

2 審理……………(第一九一、二〇二卷)……………五三六

3 赦宥……………(第二〇三、二〇四卷)……………五五五

4 行刑……………(第二〇五卷)……………五六一

5 監獄……………()……………五六一

二〇 復古始末……………(第二〇六、二〇七卷)……………五六四

二一 東北征討始末

1 徳川氏征討……………(第二一、二二卷)……………五八一

2 小田原征討……………(第二三卷)……………五九一

3 姫路高松松山三藩處分……………()……………五九二

4 北越征討……………(第二四卷)……………五九三

5 奥羽征討……………(第二五、二七卷)……………五九八

6 品海脫走軍艦征討……………(第二八卷)……………六一一

7 雜款……………(第二九卷)……………六一五

8 軍需……………()……………六一七

9 賊徒處分……………(第三〇卷)……………六二〇

10 軍功賞……………(第三一、三二卷)……………六二二

太政類典第一編閱覽請求番号一覽

凡 例

一 本書は、「太政類典」(国立公文書館所蔵)の検索の便を図るために作成したものである。

二 「太政類典」は、「太政官日記及日誌諸公文ヨリ典例条規ヲ採り部門ヲ分ツテ類纂」(明治六年「編纂處務順序」)されたものであつて、慶應三年から明治十四年までの分九百十一冊が、次の区分により、編纂されている。

第一編 (慶應三年十月から明治四年七月まで) 二百二十二卷 二百二十二冊

第二編 (明治四年八月から明治十年まで) 三百六十九卷 三百八十二冊

第三編 (明治十一年、明治十二年) 百卷 百一冊

第四編 (明治十三年) 七十卷 七十冊

第五編 (明治十四年) 五十卷 五十冊

雑 編

鹿児島征討始末 二十五冊

台湾征討始末 五冊

佐賀征討始末 四冊

熊本、秋月、萩暴動始末 二冊

外 編 五十冊

合計 九百十一冊

三 右に掲げた「太政類典」の各冊からそれぞれの巻頭目次のみを転写したものが、別に、「太政類典第〇編索引」として、二十冊の簿冊にとりまとめられている。本書の影印は、これによった。

四 本書（上巻）は、太政類典第一編に係る目次部分、すなわち前記「索引」二十冊のうちの五冊分を収録したものである。今後、昭和五十年事業として、第二編に係る目次部分すなわち「索引」八冊分を収録した中巻を、次いで昭和五十一年度事業として、第三編以下に係る目次部分すなわち「索引」七冊分を収録した下巻をそれぞれ刊行していく予定である。なお、この最終年度においては、本書の上、中、下の各巻を通した索引を作成のうえ刊行することにした。

五 底本の大きさは、縦二六・五糎、横一九糎であるが、各ページの罫の部分は縦一九糎、横一四糎（二三行罫）で、文字はこの中に収められている（ただし、小見出しが罫外上部に記入されている場合もある）。これを縮写し、その四葉ずつを本書の各ページに収めた。なお、縮写のさい、出来上りの体裁をかなり繁雑化することになる底本各ページの罫（青色）を消去し、代わって本書の各ページに見られるとおりの罫線（外枠及び上、下段の境界を示す横線）を付加した。底本各ページの体裁例については、口絵写真を参照されたい。

六 本書の目次は、原本から見出し（門及び目）のみを抽出して作成したものである。検索の便宜上、門及び目には順序番号を付した。

七 本書の本文各ページにおいて枠外下部中央に示したカッコ内の記号は、当館における「太政類典」各冊の閲覧請求番号を示す。これをとりまとめたものを、巻末に、「太政類典第一編閲覧請求番号一覧」として示した。